

(様式例第11)

日総病発第115号
平成27年7月29日

山形県知事 吉村 美栄子 殿

住 所 山形県酒田市あきほ町30番地
申請者
氏 名 山形県・酒田市病院機構
(日本海総合病院)
理事長 栗谷 義樹



日本海総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地
氏名	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院

3 所在の場所

〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地 電話 (0234) 26-2001

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
一床	4床	一床	一床	642床	646床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	<p>(主な設備)</p> <p>HCU 病床16 床面積 169.06㎡・ICU 病床8 床面積 172.20㎡</p> <p>除細動器、ペースメーカー、心電計、呼吸循環監視装置、人工呼吸器、経皮的酸素分圧監視装置、酸素濃度測定装置、微量輸液装置、超音波診断装置、心電図モニター、血液ガス分析装置、人工透析装置、気管支ファイバー、経皮的心肺補助装置、連続心拍出量測定装置、熱傷ベッド、スケールヘッド、大動脈内バルーンパンピング</p>
化学検査室 (検体検査室)	<p>(主な設備) 床面積 189.4㎡</p> <p>テーブルトップ遠心機、テーブルトップ冷却遠心機、卓上遠心機、生化学自動分析装置、化学発光免疫測定装置、血糖分析装置、ヘモグロビンA1c測定装置、全自動血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置、自動塗抹標本作製装置、血液像自動分析装置、赤血球沈降速度測定装置、自動尿分取装置、血液ガス分析装置</p>
細菌検査室	<p>(主な設備) 床面積 45.8㎡</p> <p>全自動最近同定感受性装置、薬剤感受性装置、自動血液培養装置、安全キャビネット、プログラム恒温槽、フ卵バイオハザード冷却遠心機、マイクロプレートリーダー、超低温フリーザー、光学顕微鏡、蒸留水製造装置、オートクレーブ</p>
病理検査室	<p>(主な設備) 床面積 56.6㎡</p> <p>自動固定包埋装置、自動免疫染色装置、クリオスタット、光学顕微鏡、マイクローム、遠心分離機、自動細胞収集装置、臓器撮影装置、蛍光顕微鏡</p>
病理解剖室	<p>(主な設備) 床面積 31.0㎡</p> <p>解剖台、死体保管用冷蔵庫、臓器撮影装置</p>
研究室 (第二会議室)	<p>(主な設備) 床面積 74.9㎡</p> <p>机、椅子、ワイヤレスマイク、モニター、音響設備、ホワイトボード、プロジェクター、シャウカステン、</p>
講義室	<p>室数 1 室 収容定員 100人</p>
図書室	<p>室数 1 室 蔵所数 9,200冊程度 (単行書・製本雑誌)</p>
救急用又は患者搬送用自動車	<p>(主な設備)</p> <p>救急車 (酸素設備、吸引機) 保有台数 1 台</p>
医薬品情報管理室	<p>[専用室], 床面積 26.8㎡</p>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	50.6%	算定期間	2014年10月1日 ~2014年11月30日
地域医療支援病院逆紹介率	75.6%		
算出根拠	A : 紹介患者の数		1,798人
	B : 初診患者の数		3,554人
	C : 逆紹介患者の数		2,687人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

平成26年度 紹介率・逆紹介率 統計

〈 要件 〉 紹介率80%以上 又は 紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上 又は 紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上 のいずれか。

[算定方式]

地域医療支援病院紹介率＝

紹介患者の数

初診患者の数-〔救急車にて搬送された初診患者+休日又は夜間に受診した初診患者〕

地域医療支援病院逆紹介率＝

逆紹介患者の数

初診患者の数-〔救急車にて搬送された初診患者+休日又は夜間に受診した初診患者〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数①	2,723	2,876	2,795	2,905	2,835	2,590	2,611	2,548	2,669	3,027	2,363	2,714	32,656
救急車にて搬送された初診患者②	155	144	134	130	138	127	134	144	152	153	151	144	1,706
休日又は夜間に受診した初診患者③	759	818	640	683	791	715	617	710	765	1,088	603	729	8,918
紹介患者数④	794	887	906	964	817	806	944	854	850	844	822	905	10,393
逆紹介患者数⑤	1,065	1,015	1,133	1,245	1,177	1,232	1,396	1,291	1,410	1,232	1,271	1,412	14,879
紹介率 (%) =④/①- (②+③)	43.9%	46.3%	44.8%	46.1%	42.9%	46.1%	50.8%	50.4%	48.5%	47.3%	51.1%	49.2%	47.2%
逆紹介率 (%) =⑤/①- (②+③)	58.9%	53.0%	56.1%	59.5%	61.8%	70.5%	75.1%	76.2%	80.5%	69.0%	79.0%	76.7%	67.5%

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	24床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	621.9m ²	(主な設備) エックス線一般撮影装置 超音波診断装置 F P D搭載回診用エックス線撮影装置 高規格救急車伝送心電図等受診装置 モニタリングシステム	可
放射線撮影室	759.9m ²	(主な設備) 320列エックス線C T装置 デジタルエックス線一般撮影装置 64列エックス線C T装置 磁気共鳴断層撮影装置 循環器系エックス線診断装置 乳房エックス線撮影装置 泌尿器用エックス線テレビ装置 ガンマカメラシステム 脳腹部血管撮影システム 心臓カテーテル検査データシステム フルデジタルガンマカメラ アフターローディング 体外衝撃波結石破碎装置 リニアック	可
内視鏡検査室	350.3m ²	(主な設備) 気管支ビデオスコープ超音波観測システム ハイビジョンビデオスコープシステム デジタルエックス線テレビシステム	可
生理検査室	225.9m ²	(主な設備) 医用サーモグラフィ装置 血圧脈波検査装置 心電図データマネジメントシステム	可
臨床検査室	580.8m ²	(主な設備) 血液検査システム 心臓用超音波診断装置 自動採血管準備装置 病理顕微鏡システム	可

<p>集中治療室 (ICU・HCU)</p>	<p>341.1㎡</p>	<p>(主な設備) HCU 病床16 床面積 169.06㎡ ICU 病床8 床面積 172.20㎡ 除細動器 ペースメーカー 心電計 呼吸循環監視装置 人工呼吸器 経皮的酸素分圧監視装置、 酸素濃度測定装置 微量輸液装置 超音波診断装置 心電図モニター 血液ガス分析装置 人工透析装置 気管支ファイバー 経皮的心肺補助装置 連続心拍出量測定装置 熱傷ベッド、 スケールヘッド 大動脈内バルーンパンピング</p>	<p>可</p>
----------------------------	---------------	--	----------

4 備考

山形県 救急告示病院 (二次救急医療、三次救急医療) 平成23年3月11日より
(H26.4.1～H29.3.31)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令 (昭和39年厚生省令第8号) に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について (昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知) に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

<p>救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数 (※へり含む)</p>	<p>3,316人 (1,787人)</p>
<p>上記以外の救急患者の数</p>	<p>20,709人 (3,050人)</p>
<p>合計</p>	<p>24,012人 (4,837人)</p>

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

<p>救急用又は患者輸送用自動</p>	<p>1台</p>
---------------------	-----------

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

① 平成26年度共同利用医療機関延べ数	27,319件
・施設共同利用医療機関延べ数	34件
・機器共同利用医療機関延べ数	27,285件
② 上記①の医療機関のうち、開設者と直接関係のない医療機関	27,319件
・施設共同利用医療機関延べ数	34件
・機器共同利用医療機関延べ数	27,285件

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

①磁気共鳴断層撮影装置 (MRI)
②コンピュータ断層撮影装置 (CT)
③陽電子放出断層撮影装置 (PET/CT)
④ラジオアイソトープ検査装置 (RT)
⑤その他病院長が認めた医療機器装置
⑥建物の全部

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: XXXXXXXXXX

職種: 医療連携室副室長

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
※別紙のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	3床
--------------	----

医療機器の共同利用について

(単位:件数)

撮影種		平成26年度実績
MRI	全体 ①	7,033
	うち紹介 ②	770
	割合(②/①)	10.9%
CT	全体 ①	18,097
	うち紹介 ②	1,399
	割合(②/①)	7.7%
RI	全体 ①	1,358
	うち紹介 ②	12
	割合(②/①)	0.9%
PET/CT	全体 ①	797
	うち紹介 ②	79
	うち検診	112
	割合(②/①)	9.9%

合計	全体	27,285
	うち紹介	2,260
	うち検診	112

北庄内地域医療連携推進協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、北庄内地域医療連携推進協議会（以下「協議会」という。）という。

(目的)

第2条 北庄内地域の医療機関が相互に連携し、病診連携並びに病病連携の推進を図ることにより、地域住民へ質の高い医療サービスを提供する方策を検討協議する。

(協議)

第3条 協議会は前条の目的達成のため、次に掲げる事項を協議し、地域医療支援病院ほか、各関係機関等へ提言を行う。

- (1) 医療機能の分担、医療情報の共有化、診療情報提供書や地域連携パス等の活用による紹介及び逆紹介の推進に関する事項。
- (2) 施設及び医療機器の共同利用の推進に関する事項。
- (3) その他医療連携に関する事項。
 - ア 地域の医療従事者に対する研修実施について。
 - イ 救急医療の提供について。
 - ウ 諸記録の管理・閲覧について。

(構成)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

- 2 会長は、協議会委員から委員の互選をもって選出する。
- 3 副会長は会長が指名する。
- 4 委員の任期は、2年とする。再任を妨げないものとする。また、委員が欠け補欠の委員が就任した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長の職務)

第5条 会長は会務を総理し、会議の座長となる。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議の開催)

第6条 協議会は年4回開催し、会長が召集する。

- 2 協議会に必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させ、その意見を聞くことができる。

(事務局)

第7条 協議会に事務局を設置する。

- 2 協議会の庶務は、日本海総合病院医事課が処理する。

(委任)

第8条 この規約に定めるものの他、協議会の運営に必要な事項については、会長が別に定める。

附則

この規約は、平成24年9月4日から施行する。

(平成26年4月1日 一部改正)

(目的)

第1条 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院（以下「日本海総合病院」という。）は、地域住民への質の高い医療サービスを提供するため酒田地域の医療機関等との病診連携並びに病病連携を図り、酒田地域の医師、歯科医師、看護師、その他医療従事者（以下「医療従事者」という。）の相互研鑽及び情報の共有を図ることを目的として医療連携登録医制度運営要綱を定める。

(登録医制度の内容)

第2条 登録医制度の類型及び内容は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 紹介入院患者共同診療制度

医療連携登録医制度に登録された医療機関（以下「医療連携登録医療機関」という。）から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医と日本海総合病院主治医が共同して当該患者の検査、処置、指導を行うこと（以下「共同診療」という。）により、退院後のかかりつけ医への円滑な診療につなげることを目的とする。

(2) 医療機器共同利用制度

医療連携登録医療機関から検査目的で紹介された患者の検査について、かかりつけ医である登録医と日本海総合病院医師が日本海総合病院の医療機器を共同利用すること（以下「医療機器共同利用」という。）により、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とする。

(3) 研究及び研修部門利用制度

医療連携登録医療機関の医療従事者へ日本海総合病院が開催する研究会及び研修会並びに日本海総合病院を広く開放することにより、資質向上並びに相互研鑽を行うこと（以下「研究医及び研修部門利用制度」という。）を目的とする。

(登録医制度の利用)

第3条 登録医制度の利用にあたって、「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構日本海総合病院医療連携登録医登録（変更）申請書」（様式1）（以下「登録医登録（変更）申請書」という）により、医療機関単位で事前に登録申請をしなければならない。

2 登録事項に変更が生じた場合は、その事項を「登録医登録（変更）申請書」により変更申請をしなければならない。

(登録の決定及び登録証の交付)

第4条 登録医制度の利用決定は日本海総合病院長が行う。

2 日本海総合病院長は、利用決定を行った場合、医療連携登録医療機関に対して「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構日本海総合病院医療連携登録証」（様式2）を交付し、「医療連携登録医制度登載通知書」（様式3）を送付する。

3 紹介入院患者共同診療制度及び医療機器共同利用制度を利用する医師又は歯科医師については、「医療連携登録医制度登録医師証」（様式4）を発行する。

(登録の期間)

第5条 次の各号いずれかに該当した場合は、登録医を辞退するものとする。

(1) 登録医が保険医でなくなったとき

(2) 登録医制度の利用について継続しがたい事由が生じたとき

(登録医制度の利用対象施設及び医療機器)

第6条 医療連携登録医療機関からの紹介入院患者の共同診療施設として、日本海総合病院内病棟に専用病床3床を確保する。

2 医療連携登録医療機関から紹介された患者の検査にあたって、医療機器共同利用を行う医療機器は次の各号の掲げる装置とする。

- (1) 磁気共鳴断層撮影装置 (MRI)
- (2) コンピュータ断層撮影装置 (CT)
- (3) ラジオアイソトープ検査装置 (RI)
- (4) その他病院長が認めた医療機器装置

3 医療連携登録医療機関の医療従事者に対して、研究及び研修部門利用制度で開放する施設は、日本海総合病院の図書施設とする。

(共同利用の実施手順)

第7条 登録医が共同診療を行おうとする場合は、事前に「入院患者共同診療申込書」(様式5)を提出しなければならない。

2 登録医が医療機器共同利用を行おうとする場合は、「医療機器共同利用申込書」(様式6)を提出しなければならない。

3 共同診療または医療機器共同利用を終了した後は「入院患者共同診療・医療機器共同利用実施記録書」(様式7)により、診療・検査内容等を記録しなければならない。

(利用時間及び遵守事項)

第8条 共同診療または医療機器共同利用は、祝日、休日を除く月曜日から金曜日の8時30分から17時15分の時間内とする。ただし、病院長が認めた場合は、この限りではない。

2 登録医は、共同診療・医療機器共同利用を行う際、白衣及び「医療連携登録医制度登録医証」を着用しなければならない。

(共同利用に係る経費)

第9条 共同診療又は医療機器共同利用を行う際の諸費用、機器使用料は、日本海総合病院の負担とし、登録医に対しての請求は行わない。ただし、患者に負担を求めることができない費用等が生じた場合は、協議の上請求する場合がある。

2 登録医が行う共同診療又は医療機器共同利用に対する報酬や旅費等の支給は行わない。

(医療情報の共有)

第10条 共同診療又は医療機器共同利用に際し、登録医は日本海総合病院内電子カルテを閲覧し、紹介患者の医療情報を得ることができる。

2 登録医は医療情報ネットワーク協議会ちようかいネットに積極的に参加し、紹介患者の医療情報の共有化を図ることとする。

(実施細則)

第11条 医療連携登録医制度の運営にあたっての運用方法等については、日本海総合病院が別に定める。

附則

(施行期日)

本要綱は、平成24年8月1日から施行する。

登録医療機関の名簿

No.	医療機関名	医師名	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の 関係	共同利 用類型 施設 1 機器 2
1	丸岡医院	丸岡 喬	酒田市松原南15-1	内科 消化器科	無	1・2
2	酒田市立八幡病院	土井 和博	酒田市小泉字前田37	外科	無	1・2
		菊地 彰洋		内科	無	1・2
		三浦 友来		内科	無	1・2
		大瀧 陽一郎		内科	無	1・2
3	吉田医院	吉田 元	酒田市本町1-2-6	内科	無	1・2
4	医療法人尾形内科胃腸科医院	尾形 浩	酒田のみずほ1-2-28	内科、胃腸科	無	1・2
5	本間医院	本田 和義	酒田市南千日町10-48	内科、婦人科	無	1・2
6	阿部内科胃腸科医院	阿部 正和	東田川郡庄内町南野字南浦95-1	内科、胃腸科	無	1・2
7	山原整形外科クリニック	山原 慎一	酒田市大宮字一貫野82	整形外科	無	1・2
8	浅野内科クリニック	浅野 正二	酒田市あきほ町653-9	内科	無	1・2
9	折居整形外科	折居 俊彦	酒田市本町3-8-11	整形外科	無	1・2
10	酒井医院	酒井 朋久	酒田市相生町2-5-40	内科	無	1・2
11	さとう小児科医院	佐藤 寛明	酒田市新井田町1-3	小児科	無	1・2
12	さとう内科クリニック	佐藤 顕	酒田市東泉町1-12-50	内科	無	1・2
13	高木整形外科クリニック	高木 信博	酒田市亀ヶ崎7-1-30	整形外科	無	1・2
14	斎藤整形外科医院	斎藤 潔	東田川郡庄内町余目字町17-1	整形外科	無	1・2
15	石沢内科胃腸科医院	石澤 優	酒田市亀ヶ崎2-2-57	内科、胃腸科	無	1・2
16	諸星外科内科クリニック	諸星 保憲	酒田市ゆたか1-5-1	外科、内科	無	1・2
17	ほんま内科胃腸科医院	本間 清和	酒田市光ヶ丘2-19-19	内科、胃腸科	無	1・2
18	医療法人菊池医院	菊池 章	酒田市東泉町2-9-47	耳鼻咽喉科	無	1・2
19	医療法人竹内医院	竹内 輝博	酒田市幸町2-6-6	内科	無	1・2
20	こども医院さいとう	斎藤 慶一	酒田市松原南11-21	小児科	無	1・2
21	しょうない眼科	土谷 大仁朗	酒田市大宮町1-4-17	眼科	無	1・2
22	医療法人社団池田内科医院	池田 眞治	酒田市広野字末広105-4	内科	無	1・2
23	池田内科医院 浜中診療所	池田 真人	酒田市浜中上村372-10	内科	無	1・2
24	いくま内科胃腸科クリニック	井熊 仁	酒田市錦町5-32-698	内科胃腸科	無	1・2
25	サイトー内科	齋藤 好正	酒田市一番町9-9	内科	無	1・2
26	医療法人折居医院	折居 俊雄	酒田市本町3-8-11	外・胃腸科・肛門科	無	1・2
27	くろき脳神経クリニック	黒木 亮	酒田市富士見町3-2-3	脳神経外科	無	1・2
28	健生ふれあいクリニック	本間 卓	酒田市泉町1-16	内科、循環器内科	無	1・2
29	池田外科・胃腸科医院	池田 利史	酒田市上安町1-80-28	外科、胃腸科	無	1・2
30	佐藤循環器内科	佐藤 晋宏	酒田市亀ヶ崎2-4-13	循環器内科	無	1・2
31	富樫クリニック	富樫 尚子	酒田市本町3-10-5	内科、精神科	無	1・2
32	土門医院	土門 斉	飽海郡遊佐町庄泉字開元65	内科、泌尿器科	無	1・2
33	上田診療所	矢島 恭一	酒田市上野曾根字上中割73	外科、胃腸科	無	1・2
34	医療法人誠山会大山内科循環器クリニック	大山 武紹	酒田市亀ヶ崎3-8-11	循環器内科	無	1・2
35	石黒内科医院	石黒 昌生	酒田市東中の口町3-2	内科	無	1・2
36	岡田内科循環器クリニック	岡田 恒弘	酒田市東大町3-38-3	循環器内科	無	1・2
37	眞田医院	眞田 淳	酒田市浜田1-7-56	内科	無	1・2

No.	医療機関名	医師名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院 開設者との経営上の 関係	共同利用 類型 施設 1 機器 2
38	菅原外科・内科医院	菅原 貴子	酒田市東大町1-10-6	外科、内科	無	1・2
39	医療法人西尾医院	西尾 彰	酒田市亀ヶ崎2-4-12	皮膚科、泌尿器科	無	1・2
40	山容病院	小林 和人	酒田市高砂2-1-64	精神科、神経内科	無	1・2
41	松浦内科医院	松浦 周	酒田市こあら2-3-9	内科	無	1・2
42	櫻井医院	櫻井 健	酒田市北今町	内科、小児科	無	1・2
43	かめがさき整形外科	安田 健一	酒田市亀ヶ崎3-2-13	整形外科	無	1・2
44	医療法人外科内科渡邊クリニック	渡邊 公伸	酒田市亀ヶ崎3-2-1	外科、内科	無	1・2
45	さくらこころのクリニック	荒木 桂	酒田市東大町2-6-4	心療内科	無	1・2
46	さかい往診クリニック	坂井 庸祐	酒田市みずほ2-20-7	内科、外科	無	1・2
47	かとう医院	加藤 久仁彦	東田川郡庄内町余目字町15-1	内科、循環器科	無	1・2
48	奥山医院	奥山 綏夫	東田川郡庄内町狩川字小野里117	内科、外科	無	1・2
49	水戸部クリニック	水戸部 勝幸	酒田市駅東2-6-11	内科、皮膚科	無	1・2

酒田地区医療情報ネットワーク協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、酒田地区医療情報ネットワーク協議会（以下「協議会」という。）という。

(目的)

第2条 協議会は、地域内の関係医療機関がそれぞれの医療情報を共有することにより、患者さんに急性期から回復期を経て在宅医療にいたるまで一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を提供できる地域医療連携体制を推進することを目的とする。

(事務局)

第3条 協議会の事務局を山形県酒田市あきほ町30番地 山形県・酒田市病院機構法人管理部医療情報課内に置く。

(事業)

第4条 協議会は第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 医療情報共有化システムの開発
- (2) 医療情報共有化の推進
- (3) 地域医療連携パスの運用の推進
- (4) その他本協議会の目的にあった事業

(構成団体、役員)

第5条 協議会の構成団体、機関並びに役員は別紙のとおりとする。

(職務)

第6条 会長は、協議会を代表し、その業務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 監事はこの協議会の財産の状況並び決算を監査する。

(協議会決定事項)

第7条 協議会は、以下の事項について審議し、決定する。

規約の変更

事業計画及び収支予算

事業報告及び収支決算

資産の管理

その他、協議会の運営に関する事項。

(協議会の開催)

第8条 会長は必要に応じ委員を招集し、協議会を開催する。

2 協議会の議長は会長とする。

3 協議会の議決は出席した副会長及び委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(検討委員会)

第9条 会長は第4条の事業を達成するために、検討委員会を組織することができる。

2 検討委員会の長は会長が指名し、その構成員は検討委員会の長が指名した者で構成する。

(会計)

第10条 協議会の会計事務並びに契約事務は「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構会計規程」、「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構会計規程実施規程」及び「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構契約事務取扱規程」を準用する。

2 協議会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(その他)

第11条 この規約に定めのない事項は協議会の議決を経て、会長が定める。ただし、協議会を招集する暇がない場合は、会長が決定し、次の協議会で承認を受けるものとする。

附則

この規約は平成27年6月17日から施行する

別紙

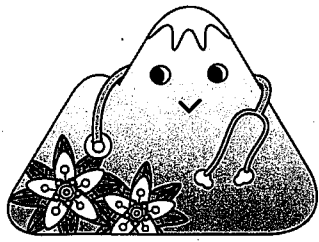
酒田地区医療情報ネットワーク協議会 構成団体、機関並びに役員名簿

1 構成団体・機関

酒田地区医師会、酒田地区歯科医師会、酒田地区薬剤師会、医療法人健友会 本間病院、酒田市立八幡病院、医療法人社団山形愛心会 庄内余目病院、地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構、酒田市ケアマネージャー連絡協議会、山形県庄内総合支庁保健福祉環境部保健企画課、酒田市健康福祉部

2 役員

役職名	所属団体・機関	同左職名
会 長	酒田地区医師会	
副会長	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構	理事長
委 員	酒田地区歯科医師会	
委 員	酒田地区薬剤師会	会長
委 員	医療法人健友会 本間病院	院長
委 員	酒田市立八幡病院	院長
委 員	医療法人社団山形愛心会 庄内余目病院	院長
委 員	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	院長代理
委 員	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院酒田医療センター	院長
委 員	酒田市ケアマネージャー連絡協議会	会長
委 員	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部保健企画課	課長
委 員	酒田市健康福祉部	課長
監 事	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部保健企画課	課長補佐
監 事	酒田市健康福祉部健康課	課長補佐



酒田地区医療情報ネットワーク協議会

ちようがいネット

《参加施設一覧》

◆酒田市

あいおい皮膚科クリニック
酒田市地域包括支援センター あげぼの
老人保健施設 明日葉
いくま内科胃腸科クリニック
池田外科胃腸科医院
石黒内科医院
石沢内科胃腸科医院
今泉クリニック
上田診療所
介護老人保健施設 うらら
太田医院
おおたきこどもクリニック
岡田内科循環器科クリニック
カイエイ薬局
影沢内科医院
加納医院
亀ヶ崎歯科医院
かめがさき整形外科
かもめ薬局
在宅介護支援センター かたばみ荘
川口耳鼻咽喉科クリニック
くろき脳神経クリニック
健生ふれあいクリニック
多機能 こうらく
居宅介護支援事業所 幸楽荘
寿デンタルクリニック
近藤内科循環器クリニック
サイトー内科
酒井医院
さかい往診クリニック

◆鶴岡市

阿部医院(湯温海) (Net4U)
五十嵐歯科医院 (Net4U)
五十嵐ハートクリニック
石黒歯科・矯正歯科医院 (Net4U)
石橋内科胃腸科医院 (Net4U)
ケアハウス いっしょいよ (Net4U)
いとうクリニック (Net4U)
犬塚医院 (Net4U)
上野整形外科 (Net4U)
斎藤胃腸クリニック (Net4U)
佐久間医院(櫛引) (Net4U)
さくまクリニック (Net4U)
澤田歯科医院 (Net4U)
荘内病院
高橋クリニック (Net4U)
土田内科医院 (Net4U)
鶴岡協立病院 (Net4U)
鶴岡協立リハビリテーション病院 (Net4U)
鶴岡地区医師会
ツルオカ薬局 (Net4U)
中村内科胃腸科医院 (Net4U)
中目内科胃腸科医院 (Net4U)
にしき調剤薬局 (Net4U)
鼠ヶ関番場歯科医院 (Net4U)
ハート調剤薬局本町店
訪問看護ステーションハローナース (Net4U)
文園矯正歯科
介護老人保健施設 ほのか
真島医院 (Net4U)
満天クリニック (Net4U)

酒田東病院

居宅介護支援事業所 酒田市社会福祉協議会

さくらホーム 居宅介護支援事業所

多機能 さくら松山

佐々木歯科医院

さとう小児科医院

さとう内科クリニック

眞田医院

さふらん 酒田南店

サン・シティ 指定居宅介護支援事業所

山容病院

介護老人保健施設 シェ・モワ

しょうない眼科

菅原外科内科医院

鈴木医院

鈴木歯科医院

訪問看護ステーション スワン

高木整形外科クリニック

富樫クリニック

富樫歯科医院(日吉町)

介護老人保健施設 徳田山

飛島診療所

酒田市地域包括支援センター にいだ

ニーズ薬局あきほ店

ニーズ薬局泉店

多機能型介護ステーション むくもり

のぎきヒフ科クリニック

酒田市地域包括支援センター はくちょう

介護老人保健施設 ひだまり

ひまわり薬局

日吉歯科診療所

ぶらす矯正歯科

ほんま内科胃腸科医院

ほんまクリニック

本間病院

本間医院

松浦内科医院

酒田市地域包括支援センター まつやま

瑞穂の郷ケアプランセンター

リハビリ訪問看護ステーションみどり

みどりまちクリニック

三原皮膚科 (Net4U)

介護老人保健施設 みずばしょう (Net4U)

宮原病院 (Net4U)

迎田歯科医院 (Net4U)

湯田川温泉リハビリテーション病院

ゆのはま薬局 (Net4U)

日本調剤 荘内薬局 (Net4U)

日本調剤 若葉薬局 (Net4U)

(Net4U)

◆庄内町

阿部内科胃腸科医院

ケアプランセンターソーラーナ

庄内余目病院

菅原医院

成澤医院

庄内町社会福祉協議会 介護支援センターほほえみ

グループホームほなみ家

庄内町地域包括支援センター

森田内科クリニック

◆遊佐町

土門歯科医院

遊佐病院

訪問看護ステーションゆざ

日本調剤 遊佐町薬局

◆新庄市

新庄病院(画像閲覧可)

◆山形市

山形大学医学部附属病院 第二外科

山形大学医学部附属病院 歯科口腔・形成外科

山形大学医学部附属病院 小児科

酒田市国民健康保険松山診療所

丸岡医院

丸岡医院居宅介護支援事業所

水戸部クリニック

諸星外科内科クリニック

山本医院

八幡病院

指定居宅介護支援事業所 ゆたか

吉田医院

ラパス調剤薬局 酒田南店

わたべクリニック

外科内科渡邊クリニック

◆東置賜郡

置賜総合病院(oki-net試験接続中)

三友堂病院 (")

※赤字 … 開示施設

2015/6/5 より(稼働中のみ)

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

・緩和ケア関係研修会	9回	院内313名	院外259名	計572名
・地域連携パス関係研修会	7回	院内 99名	院外 99名	計198名
・医療安全対策関係研修会	2回	院内400名	院外 0名	計400名
・災害医療関係研修会	6回	院内670名	院外 24名	計694名
・認知症疾患医療センター関係研修会	13回	院内 13名	院外280名	計293名
・リハビリ室関係研修会	3回	院内 28名	院外130名	計158名
・院内感染対策関係研修会	3回	院内379名	院外 39名	計418名
・地域医療関係研修会	1回	院内 14名	院外 81名	計 95名

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	38回
(2) (1) の合計研修者数	2,828名 (うち院外912名)

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 無

イ 研修委員会設置の有無 有 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
※別紙のとおり				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

平成25年度 地域医療連携のための研究会・講演会 開催実績一覧(主たる開催実績)

No.	実施日	研修内容	対象者	院内	院外	合計	備考
1	平成26年5月14日	地域連携緩和ケア協議会	当院職員及び地域医療関係者	7	11	18	
2	平成26年6月11日	緩和ケア勉強会	当院職員及び地域医療関係者	92	30	122	
3	平成26年9月10日	緩和ケア勉強会	当院職員及び地域医療関係者	42	5	47	
4	平成26年10月22日	地域連携緩和ケア協議会	当院職員及び地域医療関係者	8	10	18	
5	平成26年11月7日	緩和ケア勉強会	当院職員及び地域医療関係者	55	13	68	
6	平成26年11月8日	がん診療連携拠点病院講演会「粒子線治療」	一般	150	150	150	
7	平成26年11月23～24日	がん診療に携わる医療従事者に対する緩和ケア研修会	当院職員及び地域医療関係者	20	7	27	
8	平成27年1月14日	緩和ケア勉強会	当院職員及び地域医療関係者	81	20	101	
9	平成27年2月18日	地域連携緩和ケア協議会	当院職員及び地域医療関係者	8	13	21	
		緩和ケア委員会 合計		313	259	572	
1	平成26年4月22日	大腿骨 地域連携バス調整会議	当院職員及び地域医療関係者	14	11	25	
2	平成26年4月22日	脳卒中 地域連携バス調整会議	当院職員及び地域医療関係者	19	22	41	
3	平成26年5月29日	地域連携バス検討委員会	当院職員及び地域医療関係者	9	4	13	
4	平成26年8月26日	大腿骨 地域連携バス調整会議	当院職員及び地域医療関係者	12	14	26	
5	平成26年8月26日	脳卒中 地域連携バス調整会議	当院職員及び地域医療関係者	16	23	39	
6	平成27年1月20日	大腿骨 地域連携バス調整会議	当院職員及び地域医療関係者	11	9	20	
7	平成27年1月20日	脳卒中 地域連携バス調整会議	当院職員及び地域医療関係者	18	16	34	
		地域連携バス関連 合計		99	99	198	
1	平成26年7月22日	医療安全研修会「医師が語る事例から学ぶリスクマネジメント」	当院職員	258	0	258	
2	平成26年11月19日	医療安全研修会「各部門の取組み発表」	当院職員	142	0	142	
		医療安全対策委員会 合計		400	0	400	
1	平成26年5月29日	災害医療研修会「災害医療の基礎トリアージ」	当院職員及び地域医療関係者	143	5	148	
2	平成26年6月26日	災害医療研修会「模擬患者を使ったトリアージ研修」	当院職員及び地域医療関係者	98	7	105	
3	平成26年7月26日	災害医療研修会「災害対応机上訓練(本部・新設部門)」	当院職員及び地域医療関係者	96	2	98	
4	平成26年9月20日	災害医療研修会「災害対応実動訓練」	当院職員及び地域医療関係者	211	10	221	
5	平成26年10月11日	災害医療研修会「災害対応実動訓練 総括」	当院職員及び地域医療関係者	47	0	47	
6	平成26年11月22日	災害医療研修会「災害対応机上訓練(本部・病棟)」	当院職員及び地域医療関係者	75	0	75	
		救急・災害対策委員会 合計		670	24	694	
1	平成26年9月16日	連絡調整会議	当院職員及び地域医療関係者	6	11	17	
2	平成26年10月31日	講演会「精神障害と認知症」	一般(※医療従事者のみ)		253	253	
3	平成27年3月4日	認知症疾患医療連携協議会	当院職員及び地域医療関係者	7	16	23	
		認知症疾患医療センター 合計		13	280	293	
1	平成26年8月19日	CVA勉強会	当院職員及び地域医療関係者	8	30	38	
2	平成26年9月12日	急性期回復期領域委員会	当院職員及び地域医療関係者	1	9	10	
3	平成26年9月17日	庄内地区研修会	当院職員及び地域医療関係者	1	27	28	
4	平成26年10月21日	CVA勉強会	当院職員及び地域医療関係者	4	14	18	
5	平成26年11月4日	急性期回復期領域委員会	当院職員及び地域医療関係者	1	9	10	
6	平成27年1月27日	CVA勉強会	当院職員及び地域医療関係者	3	21	24	
7	平成27年3月10日	PT・OT合同勉強会	当院職員及び地域医療関係者	10	20	30	
		リハビリ室運営委員会 合計		28	130	158	

平成25年度 地域医療連携のための研究会・講演会 開催実績一覧(主たる開催実績)

No	実施日	研修内容	対象者	院内	院外	合計	備考
1	平成26年6月16日	研修会「敗血症診療におけるトータルマネジメント」	当院職員及び地域医療関係者	128	3	131	
2	平成26年7月11日	研修会「今、エビデンス以上の感染対策を！」	当院職員及び地域医療関係者	121	10	131	
3	平成26年10月16日	研修会「MRSA感染症の診療」	当院職員及び地域医療関係者	130	26	156	
		院内感染対策委員会 合計		379	39	418	
1	平成27年1月23日	地域の医療・介護・福祉従事者に向けた研修会 地域医療室 合計	当院職員及び地域医療関係者	14	81	95	
				14	81	95	
		合計		1,916	912	2,828	

平成 26 年度 教育研修委員会活動計画

1.目的

日本海総合病院及び北庄内医療機関等に勤務する医師等職員の資質の向上に努め、それぞれの職場において広くその能力を発揮できるよう育成することを目的とし、以下の研修等を実施する。

2.研修の内容

(1)研修会

- ①開催回数:6回
- ②開催内容:緩和ケア委員会、医療安全対策委員会、院内感染対策委員会等でそれぞれのテーマを設定して実施する。
- ③演 者:日本海総合病院医師、看護師、外部講師
- ④対 象 者:当院職員及び地域医療関係者

(2)救急医療研修会

- ①開催回数:年3回
- ②開催内容:救急の基礎、患者のトリアージ、災害対応訓練
- ③演 者:日本海総合病院医師、看護師、外部講師
- ④対 象 者:当院職員及び地域医療関係者

(3)特別講演

- ①開催回数:年3回
- ②開催内容:緩和ケア、認知症専門診療の機能とその意義、地域連携パス
- ③演 者:日本海総合病院医師、看護師、外部講師
- ④対 象 者:当院職員及び地域医療関係者

(4)症例検討会

定期的に、緩和ケア及び地域連携パスの症例検討会を行う。

3.参加の呼びかけ

日本海総合病院の医師を主とする職員、酒田地区医師会及び酒田地区歯科医師会に加盟している医療機関、地域の医療関係者に参加を呼びかけ、地域全体での資質の向上を図る。

具体的には、当院で実施する研修会等の案内を地区医師会及び地区歯科医師会の協力のもと案内を配布してもらう。また、地域の医療関係者には、関係団体に研修会等の案内を配布し参加を呼びかけてもらう。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	182.3㎡	(主な設備) 机41脚、椅子167脚、演台1台、スクリーン2枚、 ホワイトボード1台、音響設備一式、マイクスタンド6本、 マイク (ワイヤレス2本、有線4本)
第一会議室	56.0㎡	(主な設備) 机9脚、椅子45脚、シャウカステン1台、モニター1台、 ホワイトボード2台
第三会議室	54.5㎡	(主な設備) 机12脚、椅子44脚、テレビ1台、ホワイトボード1台
小会議室	18.5㎡	(主な設備) 机3脚、椅子11脚、ホワイトボード3台
活動室	12.6㎡	(主な設備) 机1脚、椅子7脚、モニター1台、ビデオデッキ1台
医局会議室	40.7㎡	(主な設備) 机6脚、椅子22脚、スクリーン1枚、シャウカステン1台

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 栗谷 義樹
管理担当者氏名	各担当部署

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテと病歴管理室 (カルテ庫) 各担当部署	患者毎に保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	電子カルテ	患者毎に保管管理
	救急医療の提供の実績	電子カルテ	患者毎に保管管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	研修会を実施した各委員会等	委員会毎に保管管理
	閲覧実績	医事課及び電子カルテ	日別及び患者毎に保管管理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	月別及び診療科毎に保管管理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	医事課長 阿部 満
閲覧担当者氏名	医事課長補佐 XXXXXXXXXX
閲覧の求めに応じる場所	医事課
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>日本海総合病院に患者を紹介しようとする医師、歯科医師及び地方公共団体から医療法第22条第2号又は第3号に掲げる諸記録の閲覧を求められた時は、医療法第16条の2第5号に基づき対応する。</p> <p>【閲覧の手続き】</p> <p>①「閲覧申出書」により閲覧を申し出る。</p> <p>②閲覧尾取扱は、月曜日から金曜日（国民の祝日及び休日並びに年末年始日は除く）までの午前9時から午後4時までとする。</p> <p>③閲覧場所については、医事課で行う。</p> <p>【酒田地区医療情報ネットワーク（ちょうかいネット）】</p> <p>酒田地区医療情報ネットワーク（ちょうかいネット）において、共同診療又は医療機器共同利用に際し、登録医は当院内電子カルテの閲覧と紹介患者の医療情報を得ることが可能である。また、登録医は医療情報ネットワーク協議会に積極的な参加を促し、紹介患者の医療情報の共有化を図っている。</p>	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

【シンポジスト】

鶴岡地区医師会	中村 秀幸 氏
あかね薬局	篠田 太朗 氏
日本海総合病院	島貫 隆夫 氏
酒田地区ケアマネージャー連絡協議会	安藤 早苗 氏

出席人数 医・歯・薬・介護福祉・行政関係従事者 120名（委員含む）

4. 平成26年度 第4回 北庄内地域医療連携推進協議会

開催日 平成26年2月20日（金）19：00～20：00

場 所 日本海総合病院 第一会議室

内 容 協議 (1) 事業の実績について

- ・紹介率、逆紹介率について
- ・救急患者数について
- ・医療機器の共同利用について

(2) その他

出席人数 委員 12名 事務局 5名

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 ・ 相談室 ・ その他 (各病棟)		
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療福祉相談員 [REDACTED]	医療福祉相談員 [REDACTED]	医療福祉相談員 [REDACTED]
患者相談件数	4,531件		
患者相談の概要			
<p>【相談内容】</p> <p>別紙のとおり</p> <p>【講じた対策】</p> <p>①入患者から相談のアクションがある時は、速やかに病棟看護師から医療福祉相談員に連絡を取り、患者情報の収集と相談に応じた。</p> <p>②入院時説明の時に患者から相談の要望がある場合は、医療福祉相談員に連絡を取り相談に応じた。</p> <p>③特に精神科の患者が診察時に相談がある場合は、医師から医療福祉相談員に連絡あり、医療福祉相談員は速やかに対応した</p>			

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 公益財団法人日本医療評価機構 平成23年5月6日付け バージョン6.0 (Ver6.0)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 病院ホームページによる発信 ・ 登録医総会、各種委員会における紹介状況等の報告 ・ 地域住民向け広報誌での啓発	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・ 全入院患者に退院支援必要の可否を判断するスクリーニングを実施 ・ ケースに応じ、社会福祉士・精神保健福祉士・退院支援看護師が介入し、地域との連携・家族調整を図っている。 ・ 包括支援センターを交えた地域連携会議を定期的に開催し、事例検討等をとおしてより良い連携が図れるよう情報交換を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・ 脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パス、急性心筋梗塞地域連携パス、5大がん地域連携パスを策定 ・ 各種パスの協議会をとおして、先進地事例の広報や症例検討、パスのオーバービューの様式の検討などを継続的に行っている。	